

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和3 年度実施分

施設名	河辺学童保育所、若草学童保育所、霞台学童保育所		
指定管理者名	知創株式会社		
指定管理期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日	担当課	子育て推進課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないものの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か ・協定や事業計画とおりの管理となっているか など	事業報告書、月次報告書	S	協定や事業計画にもとづき、施設の設置目的に沿った事業運営ができた。人員配置については体調不良で当日休み以外は、適正配置に努め前年の様な欠員とはならなかった。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書、月次報告書	S	月次報告を、納期の延滞無く、定められた期限内に書類提出を行った。	S	定められた期限に確実に報告されている。また、期限内に提出することを常態としている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画とおりの管理となっているか など	現地調査	S	「安全第一」の社方針に則し、また協定や事業計画にもとづき、安全性確保を最優先に、施設の運営・管理を行った。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査	S	適正に実施した。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告書、月次報告書	S	適正に実施した。	A	業務記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	事業報告書、ヒアリング	S	災害発生時のマニュアル等を整備し、連絡体制を確認している。	S	災害発生時のマニュアル等を整備し、緊急時の連絡体制を整えている。また迅速な危機管理を行っている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	事業報告書、ヒアリング	A	コロナ禍で研修参加が減少したが、3密を避け出来る限り参加できた。会議にて緊急時の対応確認を行っている。	A	災害時等の緊急時のため、研修、会議にて緊急時の対応確認を行っている。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書、現地調査	S	適切に実施した。	A	建物や施設の管理を行い、必要な修繕等の対応を行っている。	
事業効果等	事業の取組	事業計画とおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書、月次報告書	A	季節行事開催など積極的に取り組んだ。	A	事業計画に基づき、適切に事業が実施されている。
	利用の状況	事業計画とおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書、月次報告書	A	コロナウイルス感染症のため、事業計画とおりに行かなかったが、適切な保育を実施した。	A	事業計画に沿って適切に利用児童の保育が実施されている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート	A	アンケートの実施(9月)に合わせて、利用者意見の収集に努めた。	A	利用者アンケートを実施し、利用者意見の収集が行われている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート	A	保護者の多くの方が教室内で3密を心配と回答したため、出来る限り消毒や換気を行った。	A	利用者アンケートを実施し、一定の満足度が得られている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート	S	アンケート内容を踏まえ、改善対応に努めた。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書、月次報告書	S	子どもたちの安全・安心な居場所としての機能を果たした。市と情報共有を欠かさずに児童に寄り添った支援と対応ができた。	A	市と連携し、児童・保護者へ安全・安心を提供した。学校等の関係機関と情報共有を行い、適切に連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書、月次報告書	A	提案した日替りプログラムは、アンケート結果や利用者の声を踏まえ、一部の実施を見合わせるがあった。	A	提案内容を事業や保育内容に取り入れて実施している。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書、現地調査	A	適正に整備し、管理している。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書、現地調査	A	適正に管理している。	A	適切に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が明確である。	事業報告書、決算報告書	A	前年度は黒字決算になったが、今年度施設収支は人件費の改善を行った為、ほぼ±0の収支となった。	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	事業報告書、決算報告書	B	社全体の決算に至っては、主力の放課後デイサービス事業でコロナ感染者等多く出た為、今期は赤字決算となった。	B	今期は-3.93%となり、経常利益率はマイナスになっている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	事業報告書、決算報告書	A	多少借入金依存の資本構造となっているが、今期は借入金等行わず経営は安定している。	B	今期は自己資本比率が12.0%となっている。
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	事業報告書、決算報告書	A	流動比率は高い水準を維持しており、事業継続の安全性に不安はない。	A	流動比率251.3%であり、法人として適切に運営されている。	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	9	<p>協定や事業計画にもとづき、経営理念、保育方針に沿った事業運営を行ったが、コロナ禍ということもありマスク着用ともあり特に児童の表情確認や、保護者とのコミュニケーションの部分で苦慮した。安全・安心で楽しい学童クラブ運営を行うために、運営に携わるすべての支援員の質(支援スキル)の向上が喫緊の課題と捉えていたが、研修等多く取り入れ支援員の質(支援スキル)を上げる結果となった。クラブ運営に当たっては、教材等多く導入し、室内での3密を避けた遊びを多く取り入れることが出来た。保護者とのコミュニケーションも円滑になってきたため、児童にとって、また保護者にとって安全・安心で楽しい学童クラブ運営とは何かを、もっと追及し模索していきたいと考えている。</p>
A	11	
B	1	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	3	<p>指定管理業務3年目として、昨年度の課題を改善していくとともに、研修等を多く取り入れすべての支援員の保育の質の向上に努め、引き続きより良い学童保育の運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協定や事業計画に沿って事業の実施や管理運営を行った。児童や保護者とも円滑なコミュニケーションをとっている。 新型コロナウイルスの影響で計画通りの実施が難しい中、臨機応変に対応し、できる限りの行事・イベントを実施した。 学校やタヤけランドと定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策として、児童の体調管理や施設内定期的な換気や消毒の実施など、衛生管理を実施した。
A	16	
B	2	
C	0	